

大分類	小分類	評価の観点(ルーブリック評価)	学習履歴の例示		教員による確認	
			学生が作成・評価する主観的な根拠資料・エピソード(マイステップ)	客観的な根拠資料、コンピテンシーや具体的な行動事実を示す資料		
			何ができたと思っっているか			
1	教養総合	人類の文化・社会と自然に関する知識・理解	1.文化・社会と自然に対して関心がない、またはその知識の獲得・修得に取り組んでいない 2.上記の知識の獲得・修得に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3.上記の知識についてよく理解しており、その事象の意味について説明できる 4.上記に加え、その事象が起きた理由について説明ができる 5.上記に加え、その事象と自分や社会との関連、望ましい姿をとることができる	イ. 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験	成績証明書、文化施設、各種イベント参加履歴、写真など	○
2	教養総合	異文化・多文化理解	1.異なる文化やさまざまな文化に関心がない、またはその理解に取り組んでいない 2.上記の文化の理解に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3.上記の文化について学んで理解しており、異文化・多文化の特徴について説明できる 4.上記に加え、異文化・多文化の立場の人の考え、気持ち、行動について説明ができる 5.上記に加え、異文化・多文化の人と相互理解し、適切に接することができる	ア. 多文化・異文化に関する知識の理解 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験	成績証明書、文化施設、各種イベント参加履歴、写真など	○
3	教養総合	キャリア形成	1.キャリア形成に関心がない、または取り組んでいない 2.キャリア形成に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3.勤労観・職業観とキャリア関連の知識・能力について理解・修得し、将来を設計できる 4.実社会での体験による学修に取り組み、実社会で適切に行動できる 5.将来にわたり社会的・職業的に自立して行動できる	26. キャリア形成判定 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験	成績証明書、実習・インターンシップ、研修会等の参加履歴、報告書など	○
4	自律性	自律的学習	1.大学の授業や与えられた課題について、聞いてもわからない、または取り組んでいない 2.大学の授業や与えられた課題について、受け身で取り組んでいる 3.大学の授業や与えられた課題について、関心をもって取り組むことができる 4.上記に加え、新たな疑問や問題意識をもって取り組むことができる 5.上記に加え、自ら調べ、主体的に取り組むことができる	ウ. 専攻する特定の学問分野における基本的な知識の理解 エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
5	自律性	自己管理	1.目標と計画-実行-点検-評価-改善の自己管理に関心がない、または取り組んでいない 2.上記の自己管理に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3.自らマイステップなどを活用して学修場における自己管理に取り組むことができる 4.上記に加え、さまざまな場面で応用し、自分自身を向上・成長させることができる 5.上記に加え、自己管理を社会にも役立てることができる	16.5. GPA・総修得単位数(学習のふり返り) 17. 学修行動チェック カ. 現状の課題と目標 24. メンタルヘルス セルフチェック 25. 元気点検票(短縮版)	成績証明書(GPA)	○
6	自律性	行学一如に基づく理論知と実践知の融合	1.獲得・修得した知識や技能・技術と自分の行動や経験に関連づけて学んでいない 2.上記の知識や技能を自分の行動や経験に照らし合わせて理解しているが、応用していない 3.上記の知識や技能を自分の行動や経験に応用し、次の学びに役立てることができる 4.上記に加え、実際の状況を想定した模擬場面で生かし、次の学びに役立てることができる 5.上記に加え、実践場面で生かし、次の学びに役立てることができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』講義記録	実習・インターンシップ、ボランティア等の活動履歴、報告書など	○
7	社会性	自利他円満	1.身近な他者の幸福のために役立つことに関心がない 2.身近な他者の幸福のために役立つ大切さは理解している 3.社会に関心向け、他者の幸福のために役立ちたいという気持ちをもって行動できる 4.上記に加えて、何らかの社会貢献や地域貢献を行うことができる 5.上記に加えて、幅広い場面において率先して継続的な社会貢献活動ができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』講義記録	社会貢献活動支援士、障がい者スポーツ指導員、レクリエーション・インストラクター、臨床美術士、ノルディックウォーキングインストラクターなど社会貢献活動・地域貢献活動に役立つ資格	◎
8	社会性	一般的倫理観	1.社会のルールや集団でのマナー、礼儀などに関心がない、または取り組んでいない 2.上記のルール、マナー、礼儀などについて最低限は守ることができる 3.上記のルール、マナー、礼儀などについて必要な理由や意義を理解して守ることができる 4.上記に加え、状況(時、人、場合)に応じて他者に配慮して行動することができる 5.上記に加え、良心に基づき、誠実に社会から信頼される良識ある行動をとることができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』講義記録	デジタルコンテンツアセス(DCA)などの情報倫理に関する資格 実践の場からの評価、実習評価	◎
9	社会性	福祉(ウェルビーイング)の感性	1.見えないもの(気持ちや真意、本質など)に関心がない、または感じ取ろうとしていない 2.上記の見えないものを感じ取ろうとしているが、表面的な理解にとどまることが多い 3.上記の見えないものを感じ取る感性の大切さを理解し、取り組むことができる 4.上記に加え、その感性をある程度備え、状況によって気づき感じ取ることができる 5.上記に加え、その感性を日常生活で活用でき、さらなる感性の練磨に励むことができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』講義記録	実践の場からの評価、実習評価	◎
10	情報	情報技術	1.情報技術(ワープロ・表計算・プレゼンソフト)の操作の修得に取り組んでいない 2.上記の情報技術の基本的な操作の修得に取り組んでいるが、支援なしにはできない 3.上記の情報技術の基本的な操作は、限られた範囲の機能については一人でも可能である 4.上記の情報技術の基本的な操作が可能で、与えられた課題に対しては適切に利用できる 5.上記に加え、応用的な操作が可能で、授業外で幅広く活用でき、初心者にも教えられる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など)	MOS、ITパスポートなど情報分野の資格・検定	—
11	情報	図表解釈・作成	1.得られた情報やデータの適切な整理の仕方や図表の正しい読み取り方に取り組んでいない 2.得られた情報やデータの整理に取り組んでいるが、支援なしにはできない 3.得られた情報やデータについて図表やグラフを作成することができる 4.上記に加え、図表やグラフを分析し、その意味を正しく読み取ることができる 5.上記に加え、問題点や課題を指摘できる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など)	MOS、ITパスポートなど情報分野の資格・検定	—
12	情報	情報収集・活用力	1.インターネットや図書、雑誌などの情報の適切な収集・活用に取り組んでいない 2.上記の情報について、限られた情報源を基に、そのまま利用する 3.上記の情報について、多様な情報源から収集しているが、整理せず、そのまま利用する 4.上記の収集に加え、大学の授業やレポート課題等に整理・活用できる 5.上記の収集・活用に加え、さまざまな問題発見・解決に活用できる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など)	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
13	問題解決	論理的思考	1.筋道を立てて思考することに関心がない、または取り組んでいない 2.単純な事柄についても、事実と意見を整理して筋道を立てて思考することは苦手である 3.単純な事柄について、事実と意見を整理して筋道を立てて思考することができる 4.上記に加え、複雑な課題でも事実と意見を整理して筋道を立てて思考することができる 5.上記に加え、事実と意見を整理して筋道を立てて思考することが日常的にできる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
14	問題解決	批判的思考	1.さまざまな情報や報道、他者の意見や自分の考えをそのまま呑み込みにしている 2.上記の情報や考えが偏ったものである可能性に気づいている 3.上記の情報や考えについて、距離を置いて批判的に吟味・検討することができる 4.上記に加え、多様な可能性を考えたうえで、的確に問題点を指摘することができる 5.上記に加え、現場で状況を見、当事者の認識や気持ちを確かめて判断することができる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
15	問題解決	分析的思考	1.問題や予想外・例外的出来事についての因果関係の把握について関心がない 2.上記の因果関係の把握について関心はあるが、説明できるレベルではない 3.上記の因果関係の把握について理解しており、着目して把握することができる 4.上記に加え、調査や分析による根拠を示すことができる 5.上記に加え、課題を明らかにし、予防や解決のための方向付けを的確に示すことができる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○

16	問題解決	多面的思考	1:さまざまな視点や自分とは異なる見方に関心がない 2:上記の視点や見方に関心はあるが、一面的な見方で理解している 3:上記の視点や見方を積極的に受け入れ、取り入れることができる 4:上記に加え、上記の視点や見方を組み合わせて、問題発見・解決に取り組むことができる 5:上記に加え、改善や解決を提案し、実際の行動に活用できる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
17	問題解決	創造的思考	1:新しい考えや価値を見出すことに関心がない 2:新しい考えや価値を見出す仕方に関心はあるが、説明できるレベルではない 3:新しい考えや価値を見出す仕方を理解している 4:上記に加え、新しい考えや価値を生み出すことができる 5:上記に加え、新しい考えや価値を活用して提案や行動をすることができる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	レポート、プレゼン資料、卒業研究、制作物などの画像等ファイル	○
18	チーム力	チームワーク	1:他者との協調・協働(目標と問題の共有、役割とルールの認識など)に関心がない 2:上記の協調・協働について関心はあるが、説明できるレベルではない 3:上記の協調・協働を行うことができるが、受け身である 4:上記の協調・協働を自ら創意工夫して行い、目標の実現に積極的に貢献することができる 5:上記に加えて、リーダーが動きやすいように手助けし、協力することができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	各種活動報告書など	○
19	チーム力	リーダーシップ	1:リーダーとしての役割(方向付け、役割とルール、モチベーションなど)に関心がない 2:上記のリーダーとしての役割について関心はあるが、説明できるレベルではない 3:上記のリーダーとしての役割を理解し、真摯に目標の実現に取り組むことができる 4:上記に加え、メンバーの気持ちに配慮し(感謝や励ましなど)、状況に応じて対応できる 5:上記に加え、困難な状況や危機的状況にも対応することができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	各種活動報告書など	○
20	チーム力	マネジメント	1:企画と創造(欲求の理解、企画、体制作り、周囲の協力、新たな価値など)に関心がない 2:上記の企画と創造について関心はあるが、説明できるレベルではない 3:上記の企画と創造について理解し、取り組むことができる 4:上記に加え、経験のない課題でも事前起こりうる問題も想定して取り組むことができる 5:上記に加え、挑戦的な課題でも明確な目標と現実的計画を設定して取り組むことができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) オ-2. 絆体験・チャレンジ体験 SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	各種活動報告書など	○
21	対話力	傾聴力	1:適切な傾聴(他者の話を聴くこと)に関心がない、または取り組んでいない 2:上記の傾聴に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3:他者の話を尊重してよく聴きとることができる 4:上記に加え、質問などによって相手の関心や欲求を把握することができる 5:上記に加え、相手の様子から相手の気持ちを理解することができる	オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) SV『福祉ボランティア活動Ⅰ～Ⅳ』活動記録	実践の場からの評価、実習評価	◎
22	対話力	表現力	1:適切な表現(自分の考えを伝えること)に関心がない、または取り組んでいない 2:上記の表現に取り組んでいるが、その仕方を説明できるレベルではない 3:自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えることができる 4:上記に加え、聞き手の関心や欲求に応じて自分の考えを伝えることができる 5:上記に加え、聞き手の気持ちに配慮して自分の考えを伝えることができる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標	実践の場からの評価、実習評価	◎
23	対話力	グループ討議	1:グループ討議(役割、意見促進、まとめなど)に関心がない、または取り組んでいない 2:上記のグループ討議に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3:上記のグループ討議では、適切な手順・手段にそって話し合いを行うことができる 4:上記に加え、グループの中での意見を正確かつ的確に要約できる 5:上記に加え、今までになかった新しいアイデアの発想へとつなげることができる	エ. レポート、プレゼン資料、レジュメ等 オ-1. 学外活動(課外活動、アルバイト、ボランティア活動など) カ. 現状の課題と目標	実践の場からの評価、実習評価	◎
24	専門知	専門的な知識	1:専門的な知識に関心がない、またはその獲得・修得に取り組んでいない 2:上記の知識の獲得・修得に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3:上記の知識について、基本は理解しており、説明できる 4:上記に加え、応用的な課題について上記の知識を用いて説明できる 5:上記に加え、実社会での実践に役立てることができる	ウ. 専攻する特定の学問分野における基本的な知識の理解	成績証明書、実習・インターンシップ参加履歴、各種資格・技能検定、研修会修了証、参加証、実習評価	—
25	専門知	専門的な技術・技能	1:専門的な技術・技術に関心がない、またはその獲得・修得に取り組んでいない 2:上記の技術・技術の獲得・修得に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3:上記の技術・技術について、基本は理解しており、説明できる 4:上記に加え、実際場面における上記の技術・技術の活用の仕方を説明できる 5:上記に加え、実社会での実践に役立てることができる	ウ. 専攻する特定の学問分野における基本的な知識の理解	成績証明書、実習・インターンシップ参加履歴、各種資格・技能検定、研修会修了証、参加証、実習評価	—
26	専門知	専門職業人としての役割と責任と職業倫理の自覚	1:専門職業人の役割と責任と職業倫理に関心がない、またはその修得に取り組んでいない 2:上記の役割と責任と職業倫理の修得に取り組んでいるが、説明できるレベルではない 3:上記の役割と責任と職業倫理について、基本を理解しており、説明できる 4:上記に加え、実際場面における上記の役割と責任と職業倫理に基づく行動を説明できる 5:上記に加え、実社会での実践に役立てることができる	ウ. 専攻する特定の学問分野における基本的な知識の理解	成績証明書、実習・インターンシップ参加履歴、各種資格・技能検定、研修会修了証、参加証、実習評価	—

注) 教員による確認: ◎: 対面によるコンピテンシー評価も推奨 ○: 学習履歴の内容で判断 —: 学習履歴の有無で判断